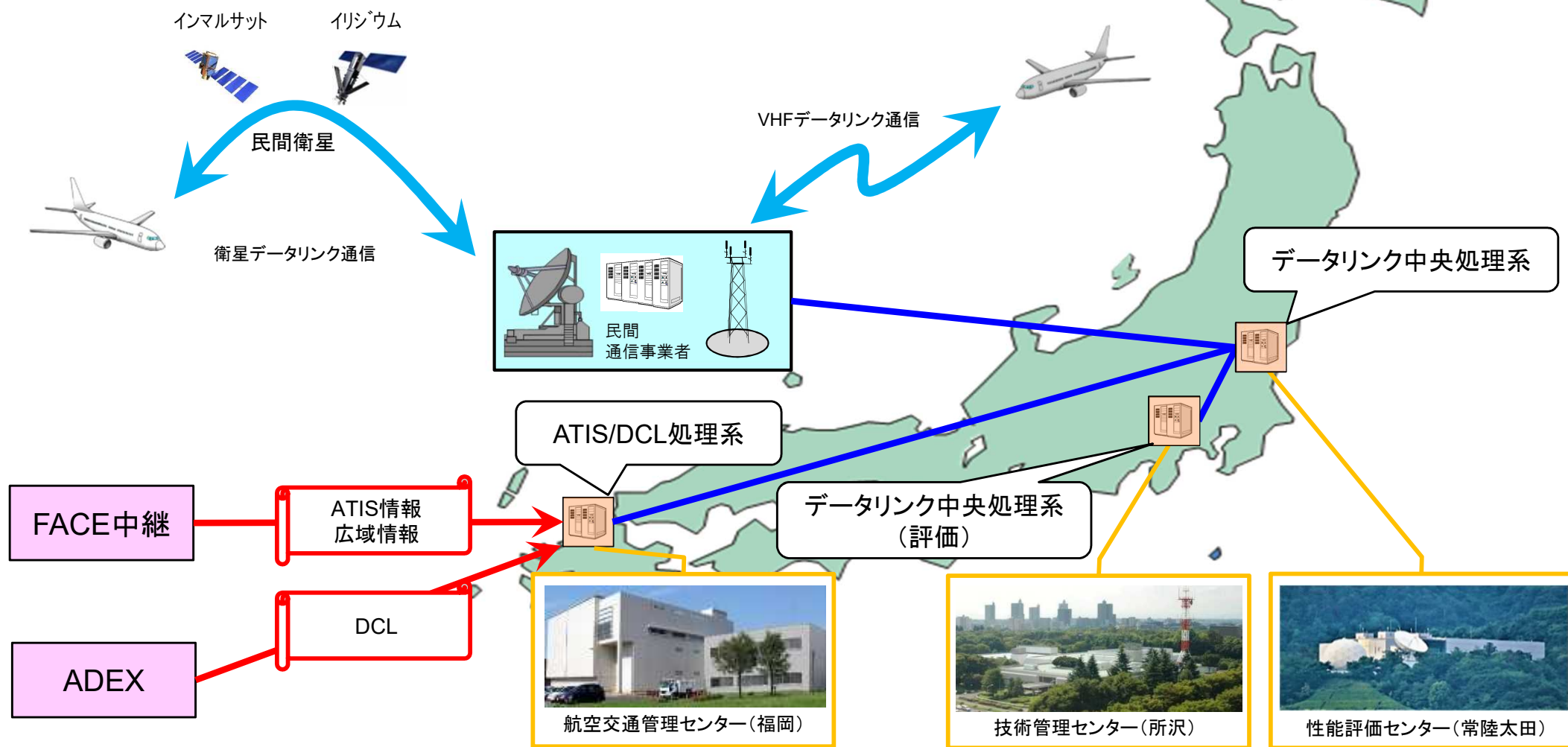


DLCSの概要

DLCS(Data Link Center Sortation equipment: データリンク中央処理装置)

データリンクを利用したATIS情報、広域情報(火山情報等)及び出発管制承認(DCL)を航空機に対して提供する。
洋上において、データリンク通信の利用機は、管制間隔の短縮及び最適な飛行経路の設定が可能となり、効率的な運航が可能となる。

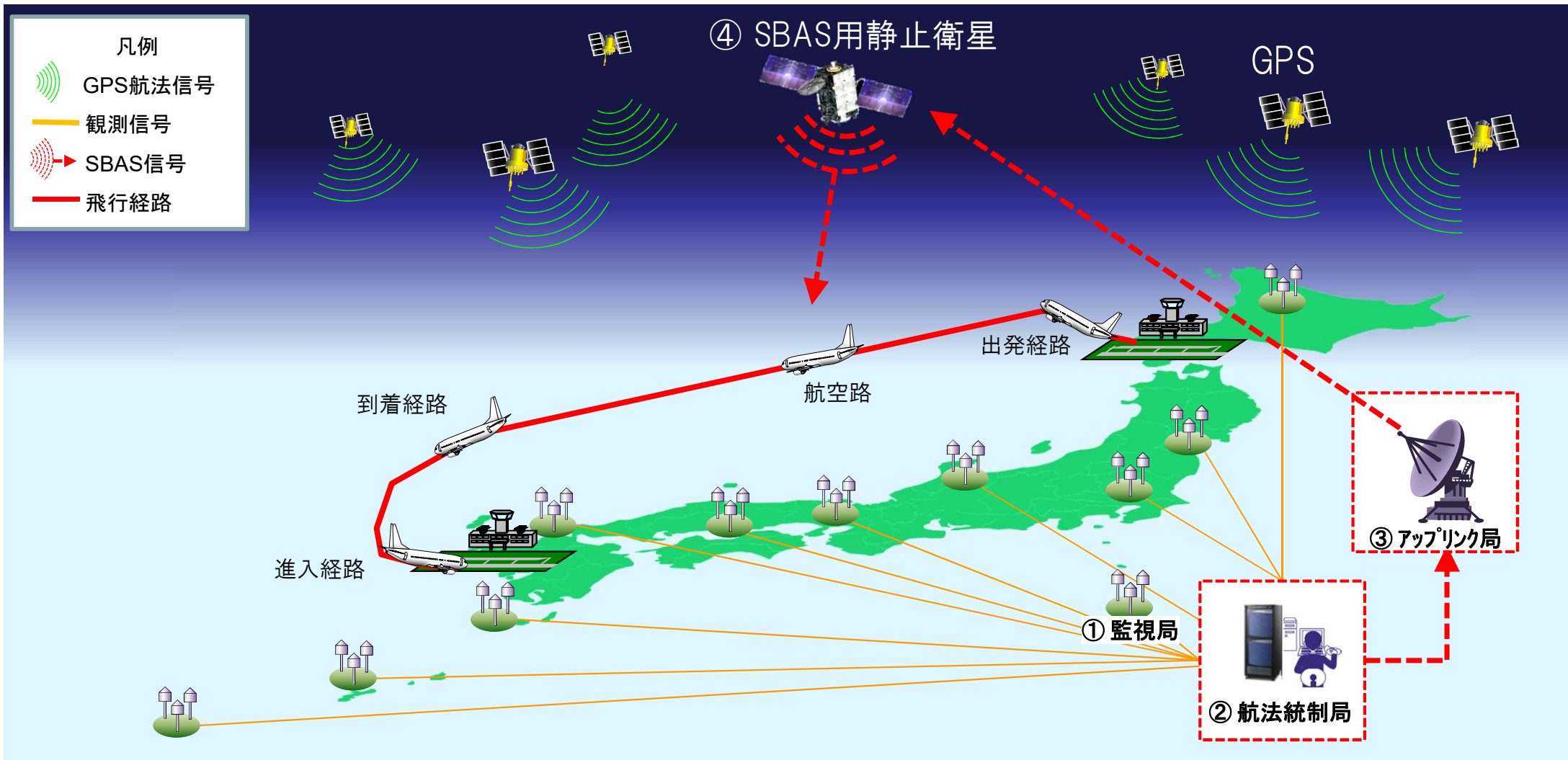
また、DCLをデータリンク通信で行うことにより、管制官はワンクリックでDCLを航空機に送信でき、パイロットはDCLの内容を視覚によって確認することができるため、管制官・パイロット双方のワークロードの軽減が図られる。



SBASの概要

SBAS (Satellite Based Augmentation System: 衛星経由送信型衛星航法補強システム)

SBASは、GPS衛星の測位誤差や異常を監視し、測位誤差やGPSの信頼性に関する情報を静止衛星を経由して航空機へ送信するシステムである。航空機は、SBAS信号を用いてGPS測位の誤差補正を行うことで測位性能が向上し、出発から到着まで衛星航法により飛行することが可能となる。



【SBAS信号提供の流れ】

- ① 監視局においてGPSの航法信号を受信し、航法統制局へ観測信号を伝送。
- ② 航法統制局において観測信号をもとにSBAS信号を作成。
- ③ アップリンク局からSBAS用静止衛星へSBAS信号をアップリンク。
- ④ SBAS用静止衛星がSBAS信号を航空機へ提供。

【SBAS信号の内容】

- ・インテグリティ機能 : GPS衛星の不具合等の異常を検出し、信頼性情報を提供する機能。
- ・デファレンシャルGPS機能 : GPSが放送する航法信号の誤差を検出し、誤差補正情報を提供する機能。
- ・レンジング機能 : 測位に必要なGPS数の不足を補うための測位信号を放送する機能。